

# クラフトプレーンの作り方

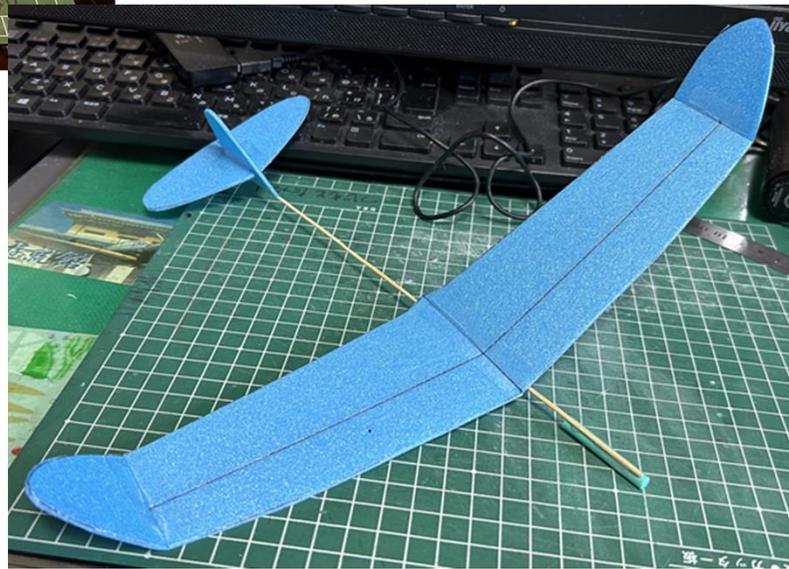
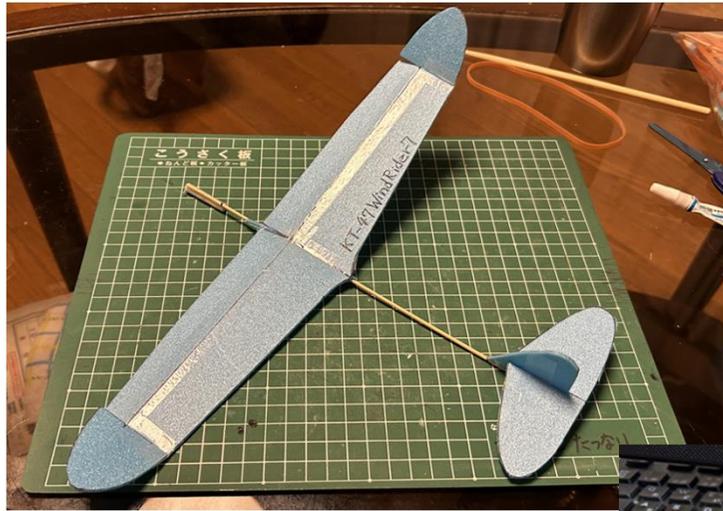
KT-47 Wind Rider7      2mm 発泡スチロールと竹ひご  
Kuniyuki tsujimoto( zero1962)      2025.01.01

ご質問は、下記まで、Facebook、LINEもOKです。

[kuniyuki.tsujimoto1182@nifty.com](mailto:kuniyuki.tsujimoto1182@nifty.com)

風に乗って飛行を楽しむ人をWind Rider と呼びます。

<https://kuniyukitsujimoto1.wixsite.com/tcpc>



発泡スチロールと竹ひごで使った  
クラフトプレーンの作り方。  
写真(1)

出来上がったクラフトプレーンは、竹箸に輪ゴムを巻き付けたカタパルトで発射します。

これにKF606のRCパーツ貼り付けたらラジコン飛行機になるよ。

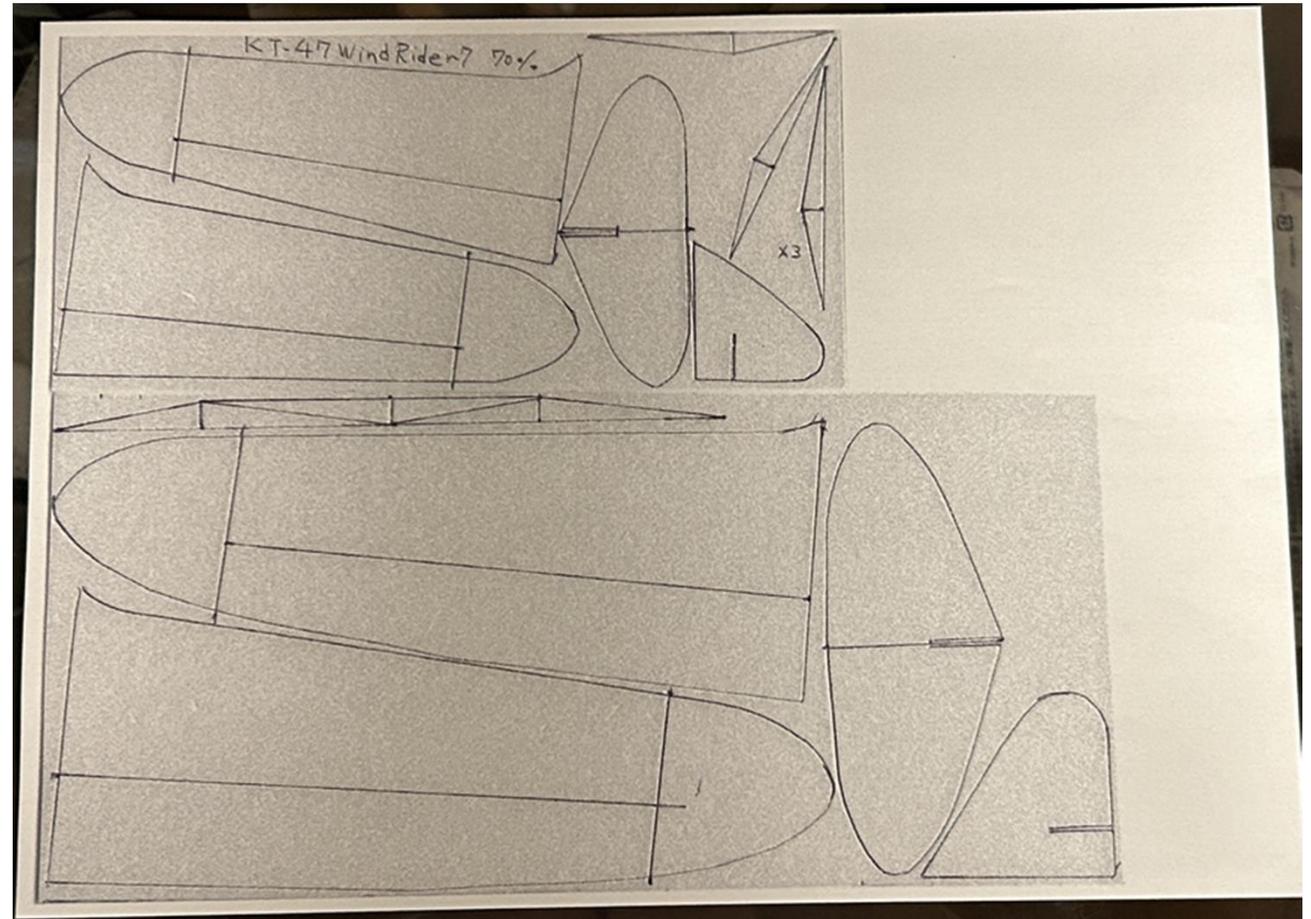
5mぐらい離れたところに紙コップをおいて狙って飛ばして見ましょう！

まっすぐ飛ぶ様に、歪みやバランス調整して見て下さい。



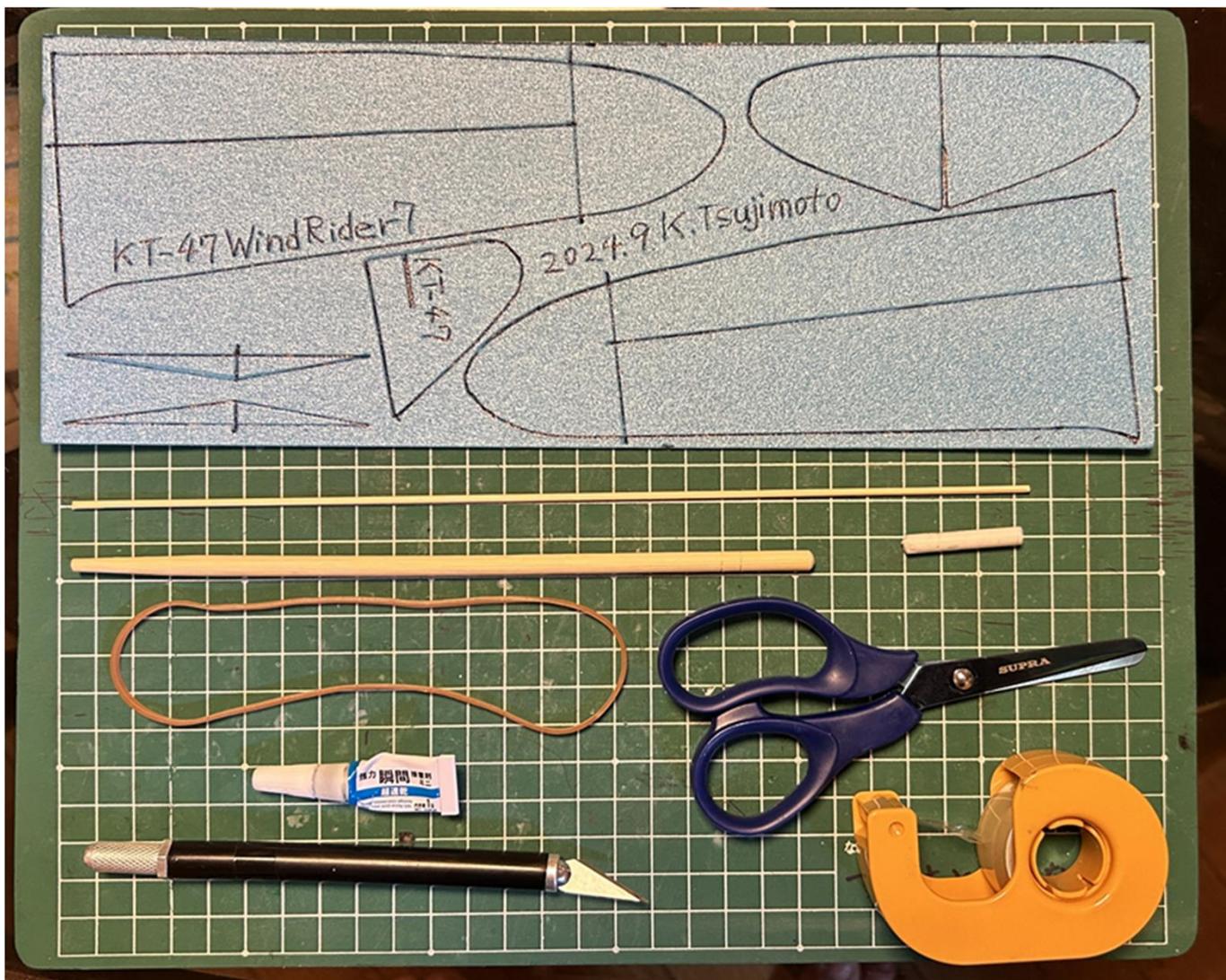
### 写真(2)道具

- (1) セロハンテープ
- (2) 両面テープ
- (3) 瞬間接着剤
- (4) デザインカッター
- (5) カッターマット
- (6) ハサミ
- (7) ボールペン
- (8) 金属定規



### 写真(3)

型紙をなぞって発泡スチレンシートにケガキします。



写真(4)  
材料と道具 一式

材料

- ・発泡スチレンシート  
110mm x 300mm 1枚
- ・竹ひご  
1.8mm x 260mm 1本
- ・ストロ 5mm x 30mm
- ・油粘土 1g

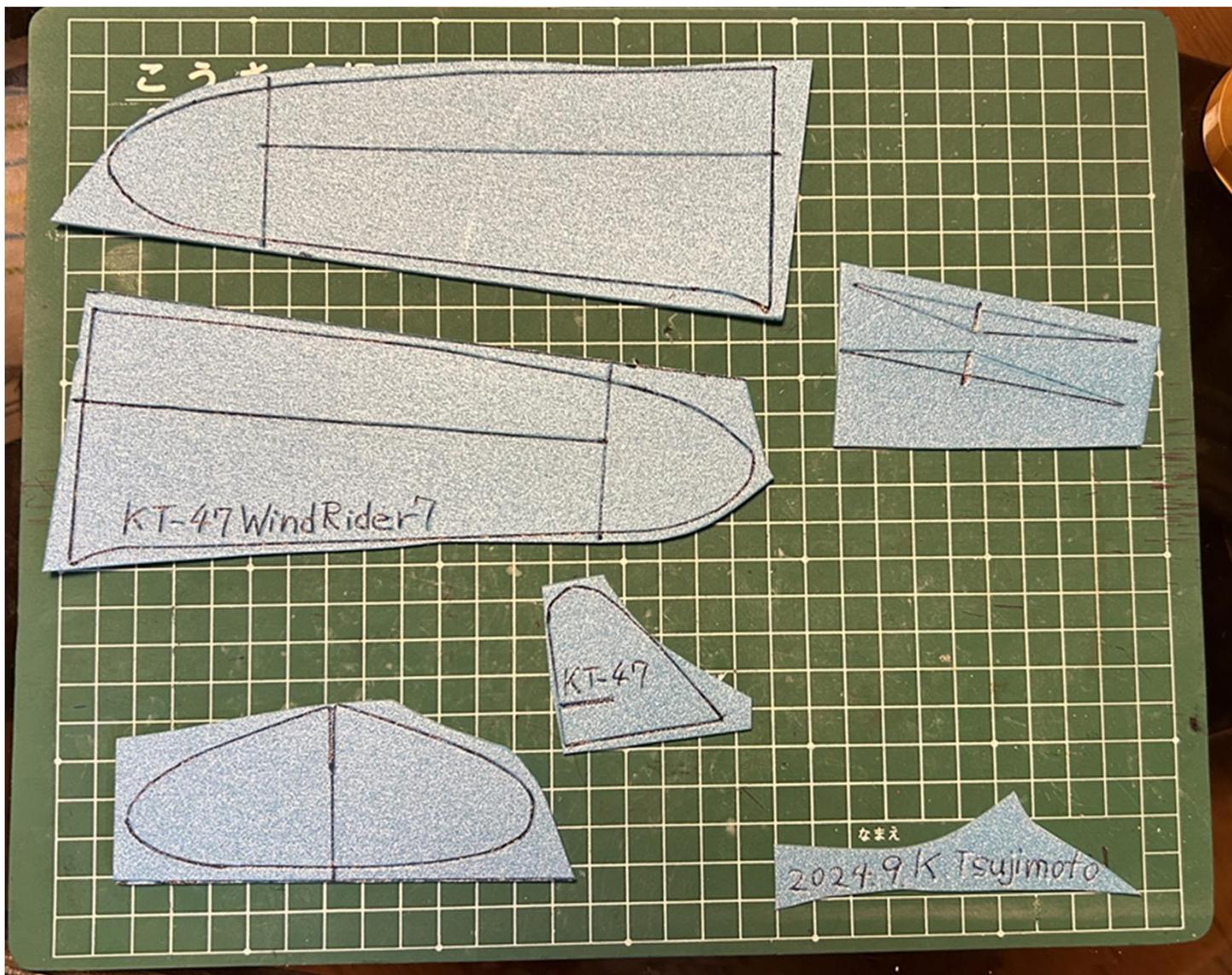


写真 (5)

発泡スチレンシートにケガキされた部品を大まかに切り出します。

- ・主翼右
- ・主翼左
- ・垂直尾翼
- ・水平尾翼
- ・主翼ベース

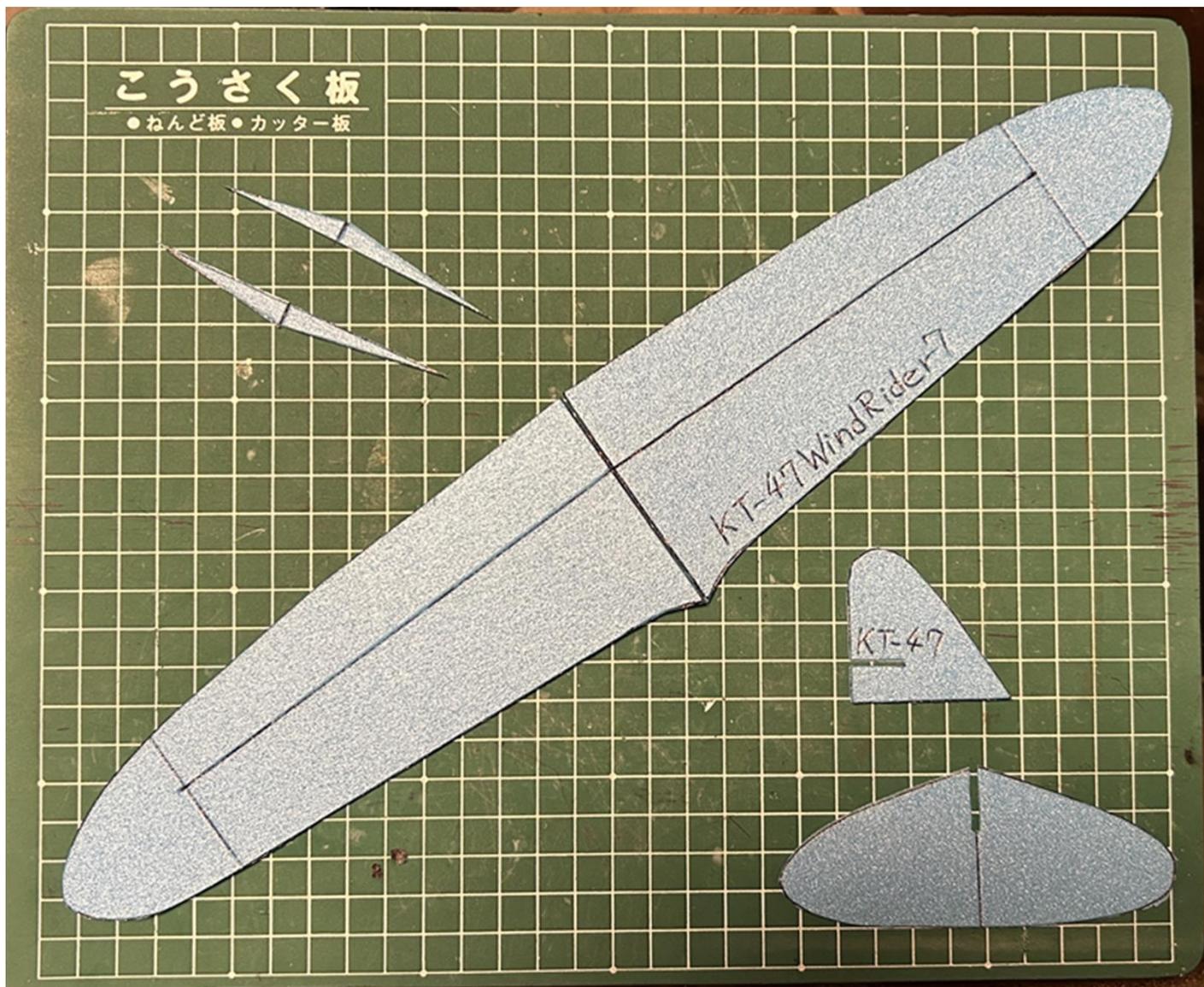


写真 (6)

ケガキされた部品の外形に沿って丁寧に切り出します

- ・主翼右
- ・主翼左
- ・垂直尾翼
- ・水平尾翼
- ・主翼ベースX2



### 【オモリの取付】

写真(7)

3cmぐらいのストローに油粘土を詰めたオモリを1.8mm x 260mmの竹ひご先端に取り付けます。



写真(8)

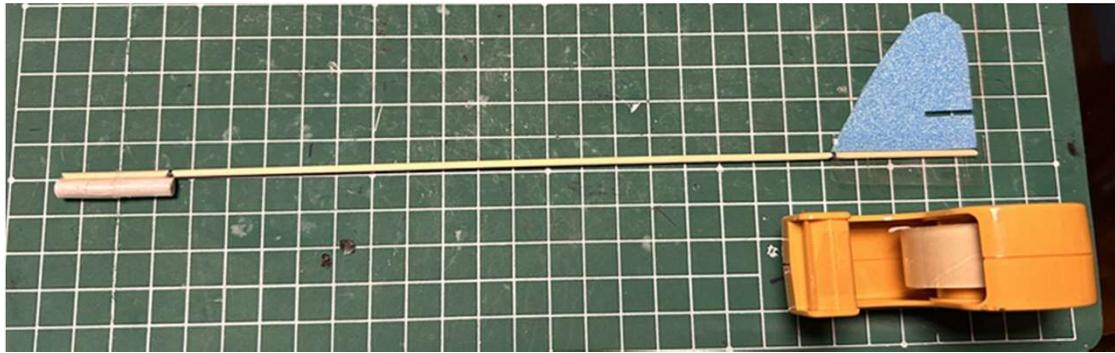
ストローに瞬間接着剤を数滴だし上から竹ひごをくっつけます。仮止め



写真(9)

その上からセロハンテープを巻き付け固定します。

ゴムカタパルト発射時、抜けることがあるので、瞬間接着剤を流し込んで抜けないように補強します。



### 【尾翼組立】

写真(10)

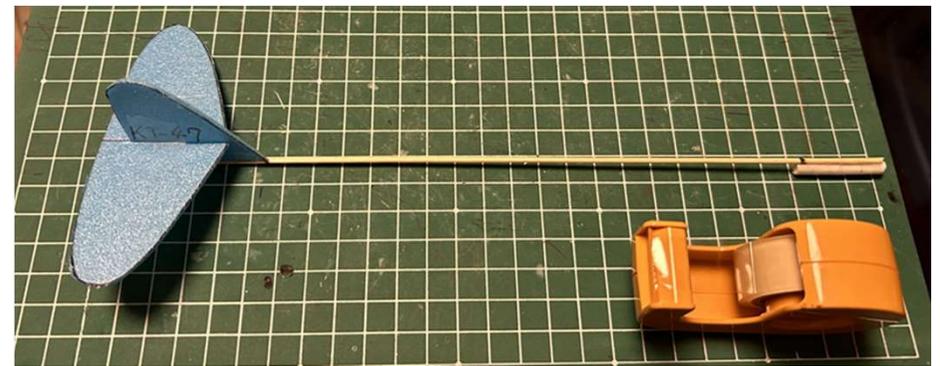
胴体竹ひご後端に垂直尾翼をセロハンテープで貼り付ける。

写真(11)

水平尾翼の切り込みと垂直尾翼の切り込みを組み合わせる。

写真(12)

垂直尾翼と水平尾翼の組合せ部分をセロハンテープで固定する。



ここから2つの製作方法を説明します。  
まずはじめは、

(A) シンプルな平板主翼

もう一つは、

(B) 主翼をへの字に折り曲げた主翼の作り方です。

【主翼の整形：(A) 平板主翼】

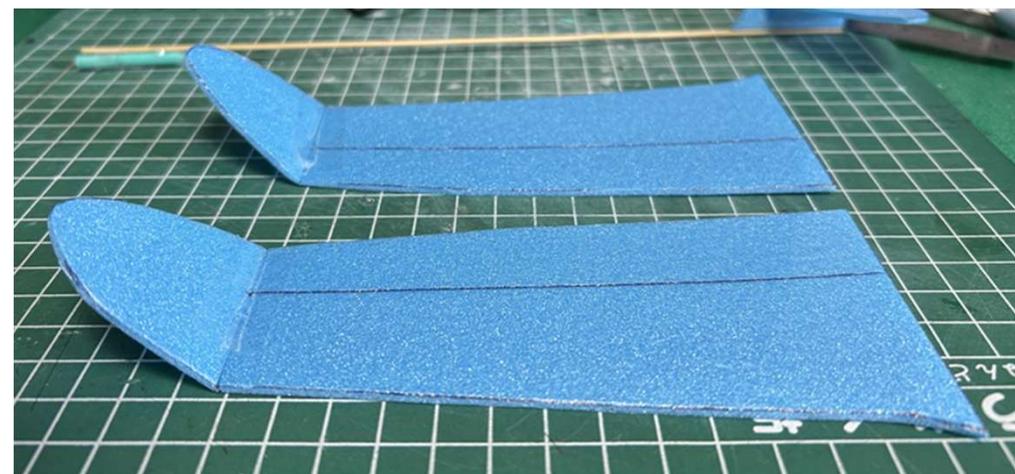
写真(13)

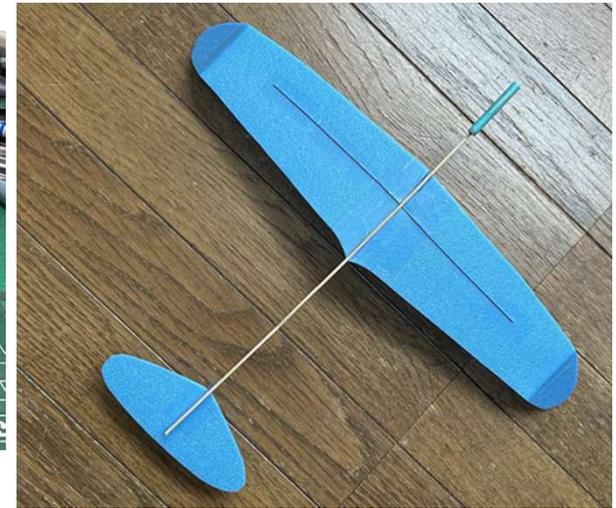
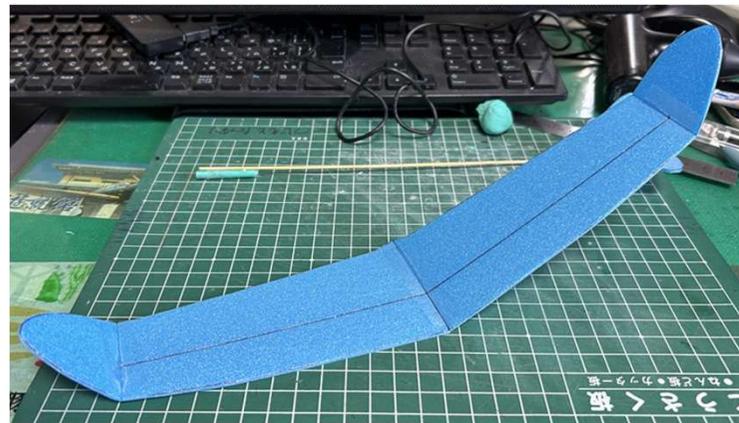
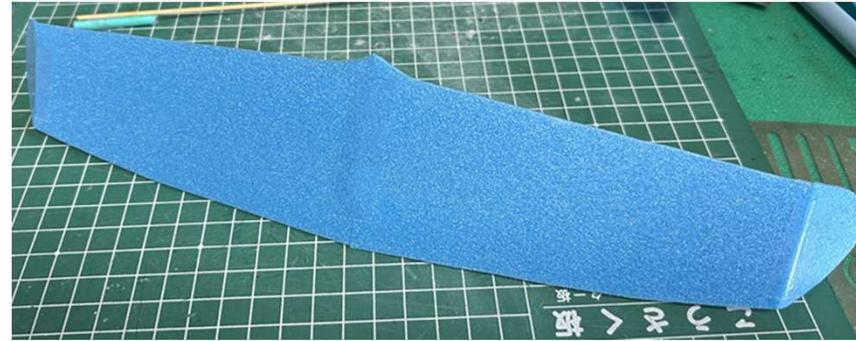
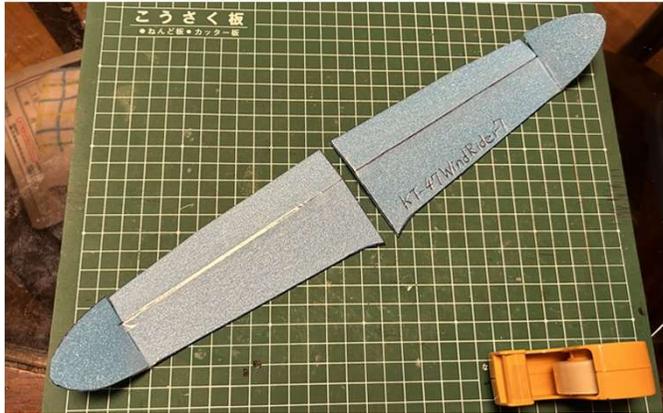
左右の主翼先端から**40mm**のところ直線に**2段上反角**の折れ線があります。ケガキの無い裏側をセロハンテープで補強しておきます。(左右共)

写真(14) なし

写真(15)

2段上反角の折れ線に沿って谷折りします。約**15deg**





### 【主翼組立】

平板主翼は、空気抵抗が少ない分剛性不足で、ゴムカタパルトで思い切り発射すると、風圧で主翼の根本から折れてしまう。

ピアノ線で補強が必要です。

### 【主翼組立】

写真(16) 主翼左右を並べる

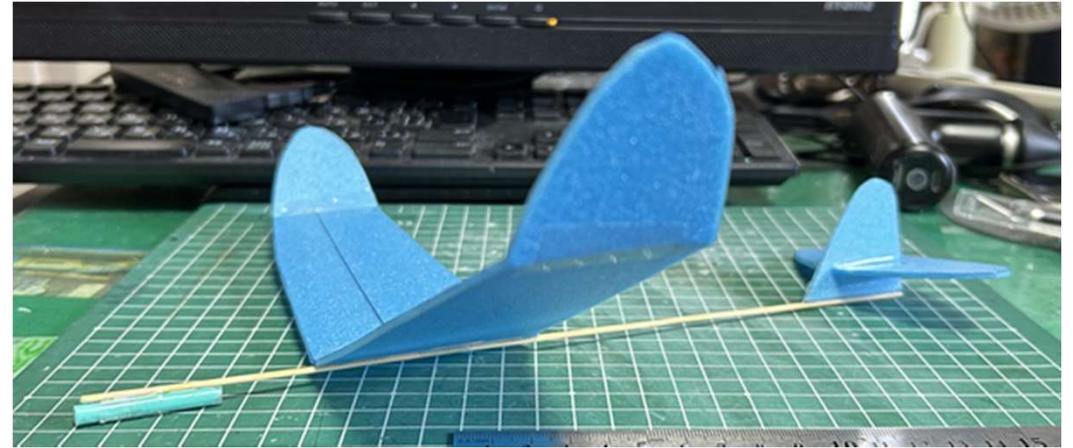
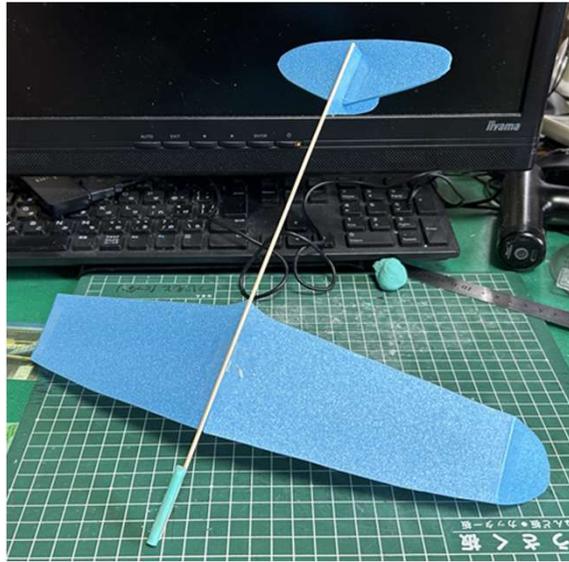
写真(17) 主翼中央接合部分を裏(腹)から40mmセロハンテープで貼り付ける。上反角左右約2.5degとします。

写真(18) 主翼中央接合部分を表(背)から40mmセロハンテープで貼り付ける。

写真(19) 主翼の裏側をピアノ線で補強(オプション)

### 【主翼ベース組立】

写真(20)(21)(22)(23) 無し



### 【主翼胴体組立】

#### 写真(24)

主翼の後端が、胴体竹ひごの先端から130mmのところを目安にセロハンテープで仮止めする。

#### 写真(25)

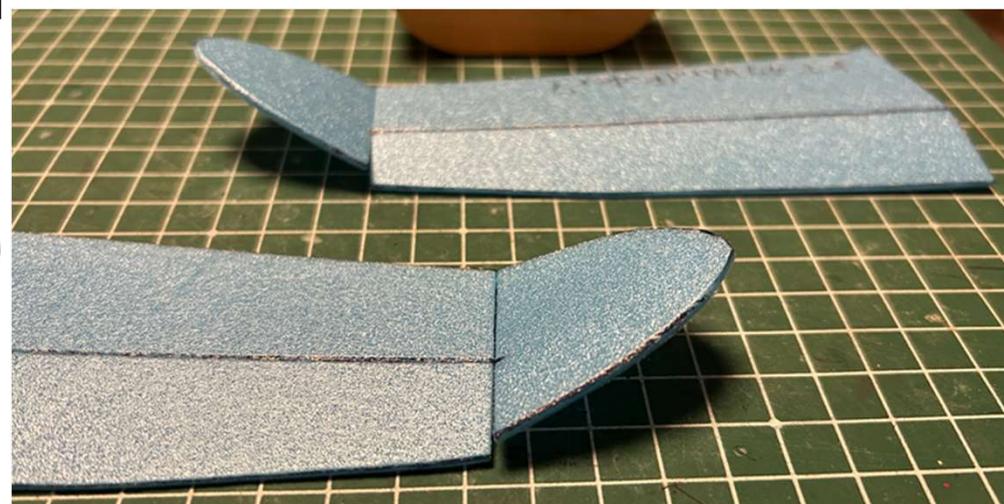
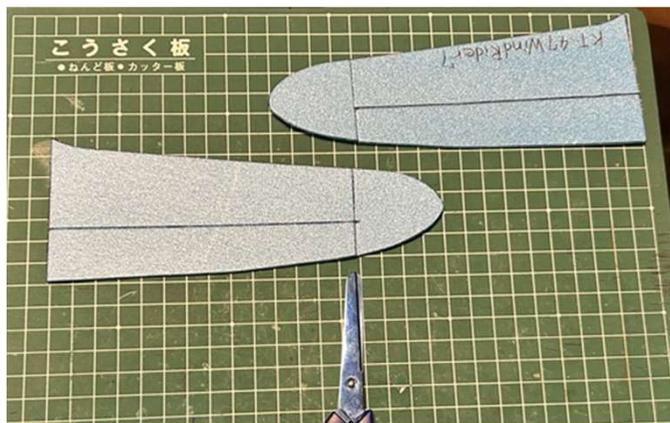
何度か手投げで水平飛行チェックし、真っすぐ滑空できるように調整した上で、しっかりセロハンテープで固定する。滑るようであれば、瞬間接着剤で固定する。溶かす効果があるので、ほんの少しとする。

#### 調整飛行：

- ・すぐ機種がさがって降下するようであれば、機首が重い。
- ・すぐ上昇して失速して急降下する場合、機首が軽い。

主翼を少し前にずらしてみる。

主翼を少し後ろにずらしてみる。



【主翼の整形：(B) への字に折り曲げた主翼】

写真(13)

左右の主翼先端から40mmのところ直線に2段上反角の折れ線があります。前縁から16mm切れ込みを入れます。

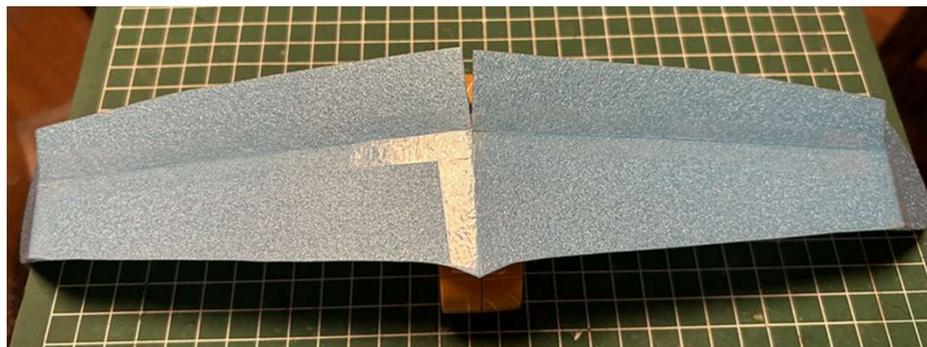
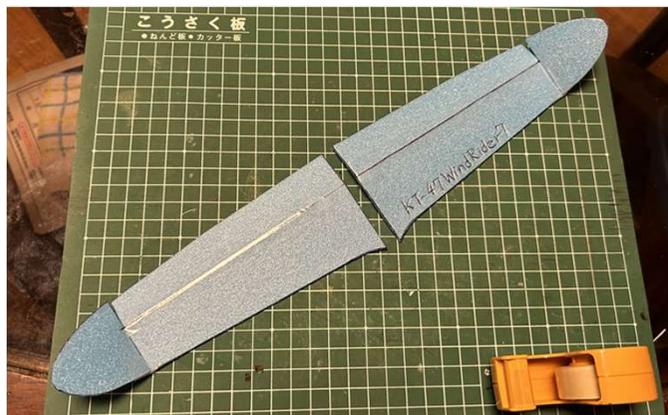
(左右共)

写真(14)

主翼の前縁から20mmぐらいのところにある直線に沿って山折りします。材質が割れやすいので、ゆっくり少しだけ折り曲げます。約175deg 翼弦と言います。

写真(15)

2段上反角の折れ線に沿って谷折りします。約15deg



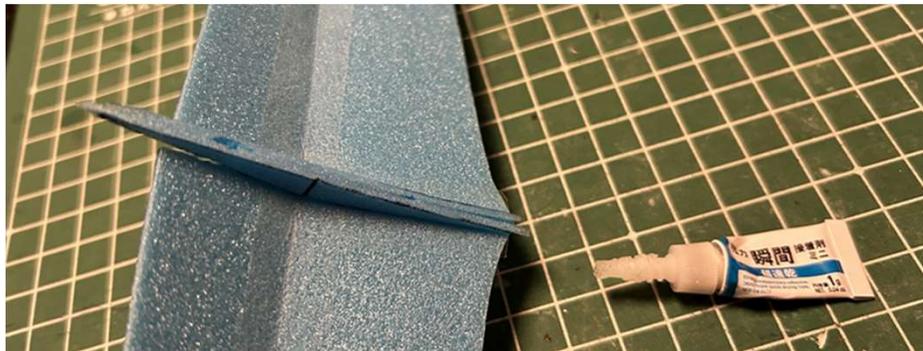
### 【主翼組立】

写真(16) 主翼左右を並べる

写真(17) 主翼中央接合部分を後ろから40mmセロハンテープで貼り付ける。上反角左右約2.5degとします。

写真(18) 主翼中央接合部分前縁から25mmは隙間を開け前縁部分で4mm程度隙間をあける。

写真(19) 主翼の山折り部分、谷折り部分は割れやすいので、裏表セロハンテープを貼り補強する。



### 【主翼ベース：主翼パイロン組立】

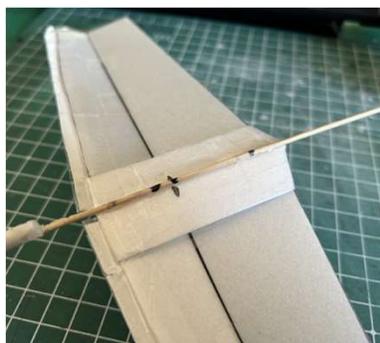
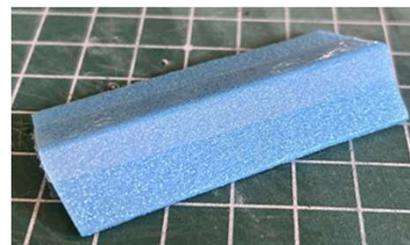
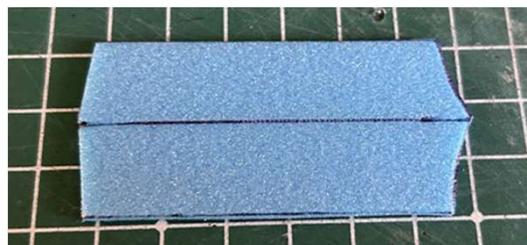
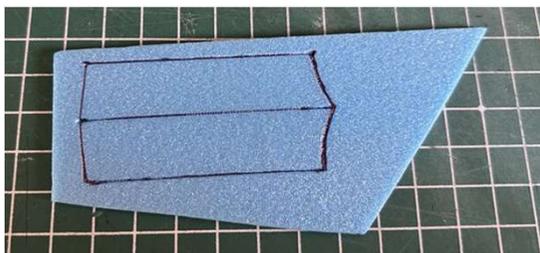
写真(20)(21) 主翼の下にあるベースのことをパイロンと呼びます。

三角形の主翼ベースの左右パーツを瞬間接着剤で仮止めする。瞬間接着剤は発泡スチレンシートを溶かす効果があるので、ほんの少しとする。主翼ベースを左右貼り付けた状態。

写真(22)(23)

主翼ベースの頂点を主翼翼弦のラインに合わせて瞬間接着剤で仮止めする。

主翼ベースの上からセロハンテープで主翼にピッタリと貼り付ける。



【主翼ベース組立：別な方法があります。】

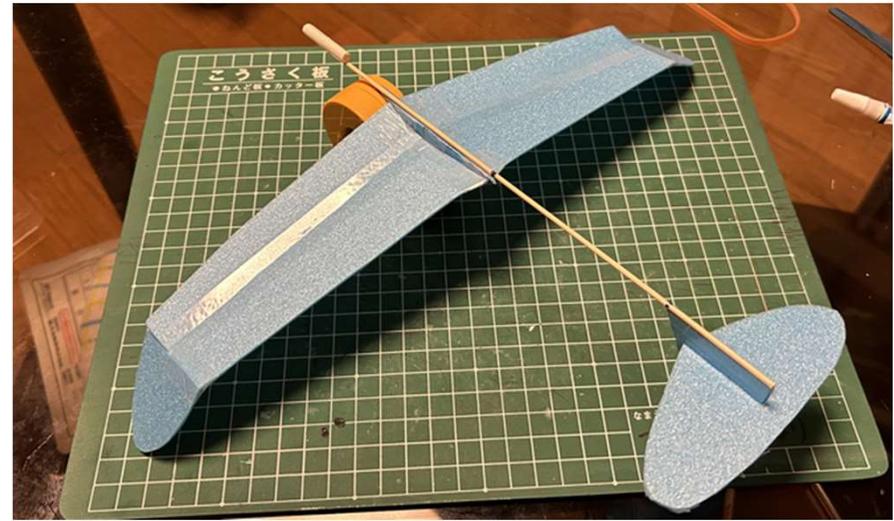
オリジナルのケガキはしていませんが、主翼の中央接合部から左右15mmぐらいのプレートを端材で作る。センターで上反角に合わせて谷折りする。（セロハンテープで裏表補強しておく）

瞬間接着剤は発泡スチレンシートを溶かす効果があるので、ほんの少しとする。主翼ベースを左右貼り付けた状態。

写真(22)(23)

谷折りプレートを主翼中央接合部を腹側から合わせて前縁部分、後縁部分をセロハンテープで止める。プレートの山折り側（腹側）に合わせて胴体竹ひごをセロハンテープで仮止めする。

滑空調整できたら、瞬間接着剤で固定する。



### 【主翼胴体組立】

#### 写真(24)

主翼の後端が、胴体竹ひごの先端から130mmのところを目安にセロハンテープで仮止めする。  
溶かす効果があるので、ほんの少しとする。

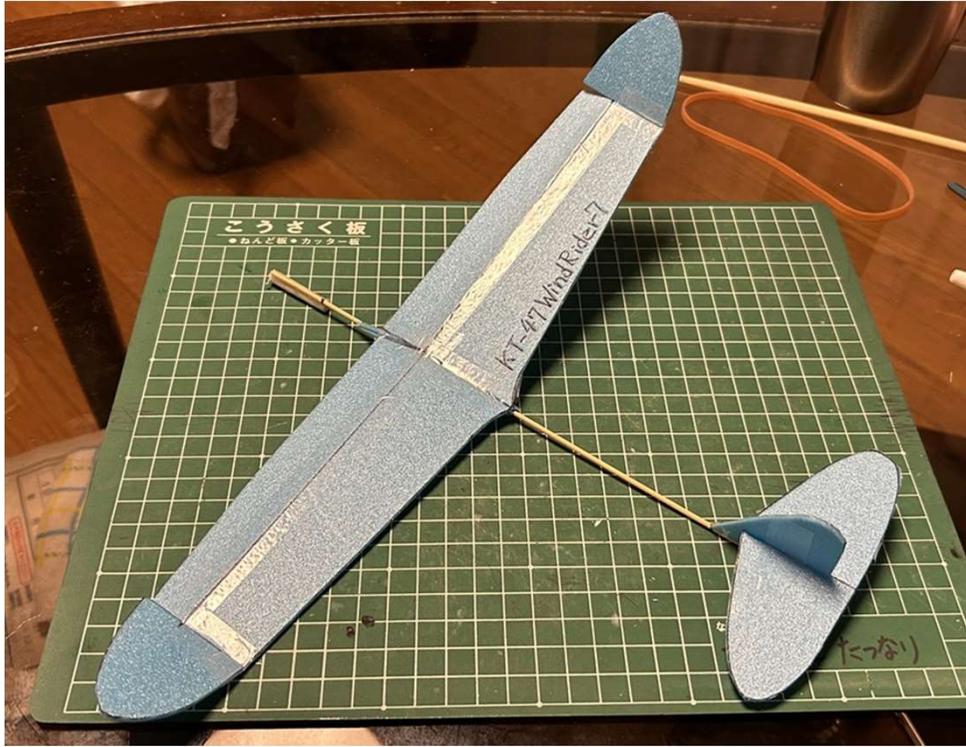
#### 写真(25)

何度か手投げで水平飛行チェックし、真っすぐ滑空できるように調整した上で、しっかりセロハンテープで固定する。滑るようであれば、瞬間接着剤で固定する。

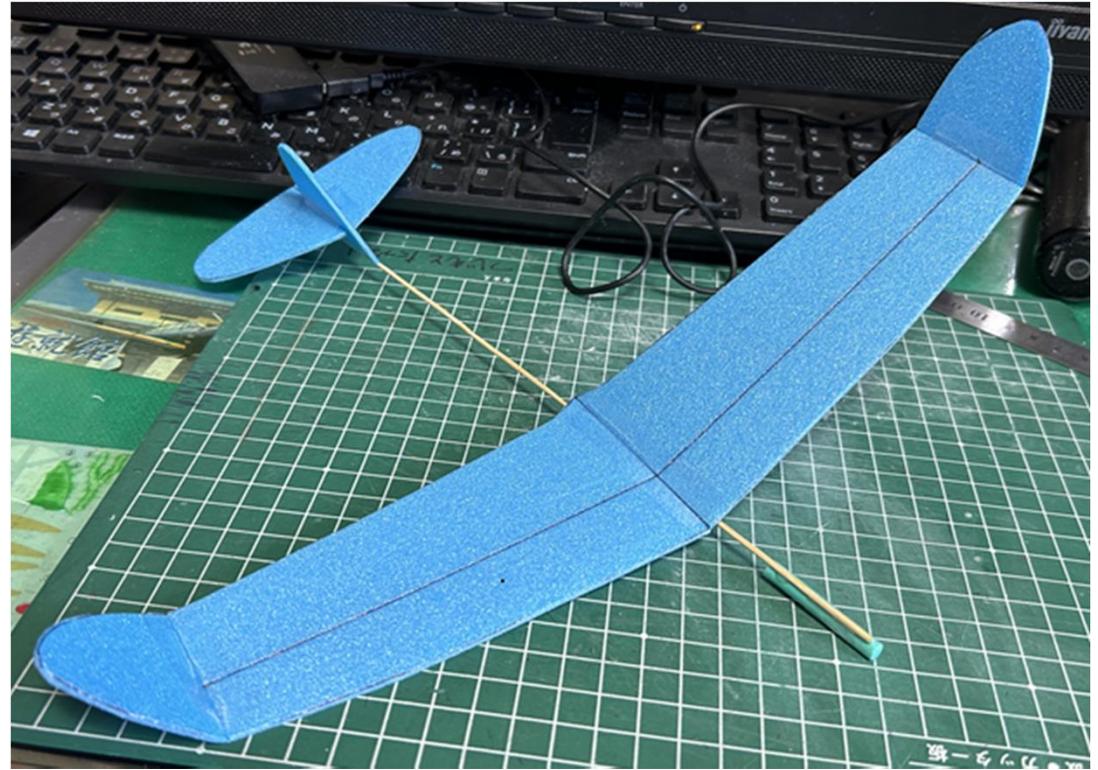
#### 調整飛行：

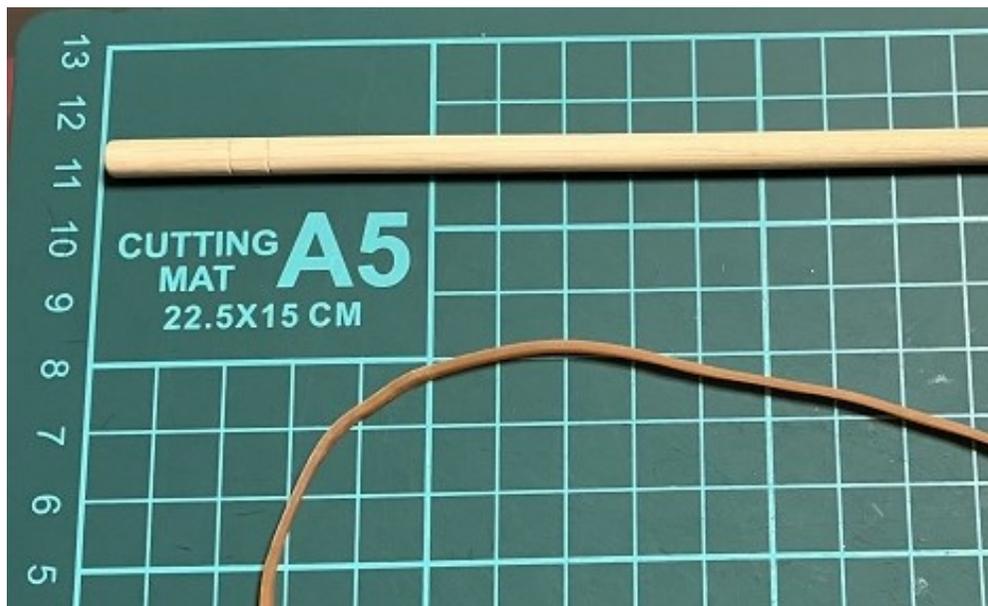
- ・すぐ機種がさがって降下するようであれば、機首が重い。
- ・すぐ上昇して失速して急降下する場合、機首が軽い。

- 主翼を少し前にずらしてみる。
- 主翼を少し後ろにずらしてみる。



【完成】 写真 (26)





### 【ゴムカタパルト組立】

写真 (27)(28)(29)

16cm径輪ゴムと丸竹箸で機体発射用のゴムカタパルトを作ります。  
中の図のように丸竹箸の先端に輪ゴムをくくりつける。

